

第2号様式（第4条関係）

地域づくり総合支援事業（ふるさと・きずな維持・再生支援事業）
事業計画（変更計画）書

平成26年4月17日

一部修正平成26年5月30日

1 実施主体

(1) NPO法人等が申請する場合

NPO法人等 (実施主体)	種別及び名称	認定特定非営利活動法人たすけあいの会ふれあいネット まつど		
	住所	千葉県松戸市東平賀7-2		
NPO法人等 (連携先)	種別及び名称	NPO法人まつどNPO協議会	担当者名	山崎 恵
	住所	松戸市栗山542-2	電話番号	090-9826-3729
	種別及び名称	NPO法人子どもっとまつど	担当者名	渡辺 洋子
	住所	松戸市馬橋2855番地 マンション ニュー松戸407号	電話番号	047-344-2272
	種別及び名称	東日本大震災復興支援松 戸・東北交流プロジェクト	担当者名	古宮 保子
	住所	松戸市松戸1834-5 小川ビル2階	電話番号	047-710-5519

(2) 協議体が申請する場合

協議体の名称			
代表構成員の団体名 及び代表者職氏名			
構 成 団 体	都道府県・市区町 村名及び部課名	事業における 役割	
	民間非営利組 織の種別・名称	事業における 役割	

2 事業概要

事業名	交流サポートサロン黄色いハンカチを拠点にした千葉県東葛地域の支 援団体ネットワーク構築事業
総事業費	5,724,000円（うち希望補助金額4,579,000円）
事業の実施期間	平成26年6月1日から平成27年3月31日まで

注：補助対象期間は補助金の交付決定日からとなります。

3 事業計画

<p>地域における課題と事業の目的</p>	<p>地域課題、地域社会にとっての必要性（ニーズ）及びその確認方法、重要性、この事業により期待できる成果、地域住民への効果等がわかるように記載してください。</p> <p>（課題）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 東日本大震災と福島第1原発の事故により千葉県東葛地域5市（松戸・柏・流山・我孫子・野田市）への避難者（広域避難者）は発災3年余を経過してもなお、約400世帯1000人にのぼります。 2. 避難者のみなさんは、避難先での生活上の不安定さ、故郷へいつ帰還できるのか、帰還した先の生活はどうなるのか、帰還を諦めて新たな定住先をどこにするか等々、抱えている課題は多岐にわたります。 3. この間の傾向として、私たちの聞き取り調査でも、帰還せずに新たな定住先を探そうという方が60%を超えており、その具体化を模索しておられます。 4. 避難先での日々の生活の営みでの苦勞と今後の生活再建の模索という二重の課題を抱えている避難者への支援について、行政ではできない個別に寄り添った支援が求められています。 5. 一方、新しい傾向として避難先での地域生活について、当初の「支援される」生活から、自分たち自身の問題を自分たち自身で解決していくとい主体的な意識と活動も生まれています。この活動を支援していくことも課題です。 <p>（目的）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 千葉県東葛地域1000人の避難者を支援する支援団体ネットワークの強化と担い手のスキルアップを図ります。 2. 支援拠点としての交流サポートサロン黄色いハンカチの活動を強化を図ります。 3. 1・2を通して、高い運営能力をもつNPO等の育成、自立のために活動する避難者の主体的力量の強化を図ります。
<p>事業の目標</p>	<p>「〇〇を〇〇以上にする」等、可能な限り数値を用いて記載してください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 千葉県東葛地域支援団体ネットワークの強化と担い手養成を図ります。 <ol style="list-style-type: none"> ①情報交換・交流会を3回開催します。 ②千葉県東葛地域支援団体ネットワーク団体・個人の担い手養成研修会を1回開催し、主要な担い手を10人養成します。 ③支援情報ニュースを9回、発行します。 ④「忘れないで！被災地と被災者を」イベントを1回開催します。 2. 支援拠点として交流サポートサロン黄色いハンカチ（千葉県松戸市中心地伊勢丹デパートとなりビル2階テナント）の活動強化を図ります。 <ol style="list-style-type: none"> ①交流サポートサロン黄色いハンカチを100回（日）開催します。 ②避難者同士・避難者と市民の交流の居場所交流サポートサロン黄色いハンカチ来訪避難者 200人×9カ月＝1800人 ③避難者個別支援件数 15件×9カ月＝135件

	<p>④避難者交流会 20×9回＝参加者 180人</p> <p>⑤避難者相談会 9回 相談者 10人×9回＝90人</p> <p>3. 高い運営能力をもつNPO等の育成、自立のために活動する避難者の主体的力量の強化を図ります</p> <p>①団体・NPO強化の研修会を1回開催します。</p> <p>②避難者サークル、当事者団体交流会を1回開催します。</p>
事業内容	<p>事業の内容、実施時期、実施場所（会場）、参集範囲及び参加予定人数等を具体的に記載してください。事業内容が複数に分かれる場合は、事業ごとに記載してください。</p> <p>1. 千葉県東葛地域支援団体ネットワークの強化と担い手養成を図ります。</p> <p>①情報交換・交流会を3回開催します。</p> <p>②避難者支援東葛の会構成団体・個人の担い手養成研修会を1回開催し、主要な担い手を10人養成します。</p> <p>③支援情報ニュースを9回、2000部×9回＝18000部発行します。</p> <p>④「忘れないで！被災地と被災者を」イベントを1回開催（200人）します。</p> <p>2. 支援拠点としての交流サポートサロン黄色いハンカチの活動を強化を図ります。</p> <p>①交流サポートサロン黄色いハンカチを100回（日）開催します。</p> <p>②避難者同士・避難者と市民の交流の居場所（交流サロン黄色いハンカチ）来訪避難者 200人×9カ月＝1800人</p> <p>③避難者個別支援件数 15件×9カ月＝135件</p> <p>④避難者交流会 20人×9回＝参加者 180人</p> <p>⑤避難者相談会 10人×9回＝90人</p> <p>3. 高い運営能力をもつNPO等の育成、自立のために活動する避難者の主体的力量の強化を図ります</p> <p>①団体・NPO強化の研修会を1回開催します（10人）。</p> <p>②避難者サークル、当事者団体交流会を1回開催します（10人）。</p>
見込まれる成果	<p>1. 本県の復興支援・被災者支援の観点</p> <p>事業によって見込まれる成果について、直接的な効果と波及効果の観点の2つの観点で記載してください。被災者支援の場合は、特に、本事業により支援を受けた被災者の延べ人数を記載してください。</p> <p>（直接的効果）</p> <p>1. 直接的避難者支援活動</p> <p>①避難者同士・避難者と市民の交流の居場所（交流サロン黄色いハンカチ）来訪避難者 200人×9カ月＝1800人</p> <p>②避難者個別支援件数 15件×9カ月＝135件（軒）</p> <p>③避難者交流会 20人×9回＝参加者 180人</p> <p>④避難者相談会 10人×9回＝90人</p> <p>⑤交流イベント 200人×1回＝200人</p> <p>2. 担い手養成と自立のために活動する避難者の主体的力量の強化</p> <p>①支援活動担い手養成研修会 10人×1回</p> <p>団体・NPO強化の研修会 10人×1回＝10人</p> <p>②避難者サークル、当事者団体交流会 10人×1回＝10人</p>

		<p>(波及効果)</p> <ol style="list-style-type: none"> 千葉県東葛地域 5 市で個別に支援活動を行っている団体のネットワークの強化により、避難者支援活動の内容が豊かになります。 避難者主体の活動を発展させることで、避難者の自律と自立が前進します。 避難者の活動・支援団体の活動を市民に「見える化」を追求することで、千葉県民の被災地と避難者への関心と支援活動への参加が広がります。 																	
	<p>2. 取組実施主体の運営力強化の観点</p>	<p>取組内容により、取組実施主体においてどのように運営力強化が図られるのか記載してください。</p> <ol style="list-style-type: none"> ネットワーク構築と強化の活動を通して <ol style="list-style-type: none"> ①コーディネーター力の強化 ②連携・調整力の強化 ③支援スキルの強化 が図られ、組織基盤と運営力強化が図られます。 人材育成活動を通して運営力強化が図られます。 																	
<p>事業スケジュール</p>	<p>いつ、どのような活動を行うのか、事業の進め方、段取りがわかるように記載してください。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="446 808 518 902">月</th> <th data-bbox="518 808 927 902">ネットワーク構築・人材育成の活動</th> <th data-bbox="927 808 1390 902">交流サポートサロンを拠点にした活動</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="446 902 518 1025">7月</td> <td data-bbox="518 902 927 1025">①連携組織との事業開始に当ってのキックオフ会議</td> <td data-bbox="927 902 1390 1937" rowspan="7"> <ol style="list-style-type: none"> 常設型交流サポートサロン黄色いハンカチ 毎週火水木曜日午前 10 時～午後 4 時オープン 避難者個別支援活動 高齢者の独居を中心に 毎月 15 軒 避難者交流会 避難元別に開催 毎月 1 回 避難者相談会 毎月 1 回 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="446 1025 518 1196">9月</td> <td data-bbox="518 1025 927 1196">①避難者支援団体東葛地域ネットワーク情報交換・交流会 ②支援団体担い手養成研修会</td> </tr> <tr> <td data-bbox="446 1196 518 1364">10月</td> <td data-bbox="518 1196 927 1364">①避難者サークル・当事者団体交流会</td> </tr> <tr> <td data-bbox="446 1364 518 1532">11月</td> <td data-bbox="518 1364 927 1532">①避難者支援団体東葛地域ネットワーク情報交換・交流会 ②支援団体・NPO 強化研修会</td> </tr> <tr> <td data-bbox="446 1532 518 1680">12月</td> <td data-bbox="518 1532 927 1680">①避難者忘年会</td> </tr> <tr> <td data-bbox="446 1680 518 1803">1月</td> <td data-bbox="518 1680 927 1803">①避難者支援団体東葛地域ネットワーク情報交換・交流会</td> </tr> <tr> <td data-bbox="446 1803 518 1937">3月</td> <td data-bbox="518 1803 927 1937">①忘れないで！被災地と被災者・避難者交流イベント ③事業評価 ④事業完了報告書提出</td> </tr> </tbody> </table>	月	ネットワーク構築・人材育成の活動	交流サポートサロンを拠点にした活動	7月	①連携組織との事業開始に当ってのキックオフ会議	<ol style="list-style-type: none"> 常設型交流サポートサロン黄色いハンカチ 毎週火水木曜日午前 10 時～午後 4 時オープン 避難者個別支援活動 高齢者の独居を中心に 毎月 15 軒 避難者交流会 避難元別に開催 毎月 1 回 避難者相談会 毎月 1 回 	9月	①避難者支援団体東葛地域ネットワーク情報交換・交流会 ②支援団体担い手養成研修会	10月	①避難者サークル・当事者団体交流会	11月	①避難者支援団体東葛地域ネットワーク情報交換・交流会 ②支援団体・NPO 強化研修会	12月	①避難者忘年会	1月	①避難者支援団体東葛地域ネットワーク情報交換・交流会	3月	①忘れないで！被災地と被災者・避難者交流イベント ③事業評価 ④事業完了報告書提出
月	ネットワーク構築・人材育成の活動	交流サポートサロンを拠点にした活動																	
7月	①連携組織との事業開始に当ってのキックオフ会議	<ol style="list-style-type: none"> 常設型交流サポートサロン黄色いハンカチ 毎週火水木曜日午前 10 時～午後 4 時オープン 避難者個別支援活動 高齢者の独居を中心に 毎月 15 軒 避難者交流会 避難元別に開催 毎月 1 回 避難者相談会 毎月 1 回 																	
9月	①避難者支援団体東葛地域ネットワーク情報交換・交流会 ②支援団体担い手養成研修会																		
10月	①避難者サークル・当事者団体交流会																		
11月	①避難者支援団体東葛地域ネットワーク情報交換・交流会 ②支援団体・NPO 強化研修会																		
12月	①避難者忘年会																		
1月	①避難者支援団体東葛地域ネットワーク情報交換・交流会																		
3月	①忘れないで！被災地と被災者・避難者交流イベント ③事業評価 ④事業完了報告書提出																		

事業実施体制	事業の実施責任者、会議体の構成員の名称及び役割分担等を記載してください。複数の団体が連携して申請する場合は、連携の具体的な内容についても記載してください。	
実施責任者	奥田義人	認定 NPO 法人たすけあいの会ふれあいネットワークまつど事務局長
ネットワーク担当	松下直樹	認定 NPO 法人たすけあいの会ふれあいネットワークまつど
個別支援担当	渡辺洋子	NPO 法人子どもとまつど理事長
相談・交流会サロン担当	古宮保子	東日本大震災復興支援松戸・東北交流プロジェクト代表
研修・広報・企画担当	細嶋千広	認定 NPO 法人たすけあいの会ふれあいネットワークまつど
会計責任者	佐久間浩子	認定 NPO 法人たすけあいの会ふれあいネットワークまつど副代表
行政等調整担当	山崎 恵	NPO 法人まつど NPO 協議会理事
事業終了後の展開	<p>事業終了後、会議体の取り組みをどのように継続し、または発展させるのかを記載してください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 避難者が避難先、定住先へ溶け込み、地域住民として生活ができるように、直接支援活動をシフトしていきます。 2. 交流サポートサロンの運営を避難者主体にしていきます。 3. 千葉県東葛地域の支援ネットワークを一層強化し、個別団体の主体的力量強化を図ります。 	
事業の先進性・普及性	<p>どのような先進性を有するか、どのようにして他のモデルとなるのかを記載してください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 常設型交流サポートサロンを拠点にした直接的避難者支援活動 2. 常設型交流サポートサロンを拠点にした支援ネットワーク構築活動 	
特記事項	<p>特に説明しておきたい事項、アピールポイント等ありましたら記載してください。</p> <p>この事業は、2012年度福島県地域づくり総合支援事業、2013年度福島県地域づくり総合支援事業（ふるさと・きずな維持・再生支援事業）の実績の上に、現課題に応える発展型の活動です。</p>	

※用紙が足りない場合は、適宜追加してください。

※地域社会にとっての必要性（ニーズ）について確認できる資料（新聞の切り抜きやアンケート結果等）がある場合は、A4用紙1枚（両面可）に限り添付できます。

第3号様式（第4条関係）

地域づくり総合支援事業（ふるさと・きずな維持・再生支援事業）

収 支 予 算 書

申請者名 認定特定非営利活動法人たすけあいの会ふれあいネットまつど

【収入の部】

（単位：千円）

区 分	平成26年度 予 算 額	明 細
ふるさと・きずな維持・再生 支援事業補助金	4,579	
自己資金（負担者名）	1,145	
		ふれあいネットまつど拠出(内部留保等)
事業収入		
その他収入		
寄付金		
収入合計	5,724	

【支出の部】

（単位：千円）

区 分	平成26年度 予 算 額	明 細
人件費（共済費を含む）	2,860	事務局員2人（兼務ネットワーク担当・研修広報企画担当） 16万×1人×10カ月=1,600,000円 事務局通勤費 6,000円×10カ月=60,000円 サロンスタッフ 5000円×12日×10カ月×1人 =600,000円 個別支援スタッフ 5000円×12日×10カ月×1人 =600,000円
報償費	232	専門家謝金 相談会 8000円×9回=72,000円 避難者交流会 8000円×2人×9回=144,000円 研修会 8000円×2回=16,000円
旅費	160	個別支援スタッフ移動交通費 1000円×8日×10カ月×2人= 160,000円
需用費	285	
消耗品費	100	サロン飲食原料 5000円×10カ月=50,000円 サロン日用消耗品 5,000円×10カ月=50,000円

燃料費	85	電気代 7000円×10カ月=70,000円 水道代 1500円×10カ月=15,000円
印刷製本費	100	ニュース印刷 パンフレット印刷 チラシ・ポスターカラー印刷
役務費	387	
通信運搬費	380	NTT利用料 6000円×10カ月=60,000円 ニュース発送費 80円×400×10カ月=320,000円
手数料	2	振込手数料等
保険料	5	市民活動保険
使用料及び賃借料	1,800	交流サポートサロン黄色いハンカチ賃借料 180,000円×10カ月 =1,800,000円
委託料		
支出合計	5,724	

注1 用紙の大きさは、A列4番とすること。欄が足りない場合は、適宜追加してください。

注2 「明細」欄には各区分の積算内訳として、名称、数量、単価、金額を必ず明確に記載すること。なお、「明細」については別紙として添付しても差し支えない。仕様については別途資料を添付すること。

注3 行政による他の補助事業も併せて利用する場合は、各補助金の使途を明確に区分し、この資金計画には、ふるさと・きずな維持・再生支援事業補助金を使用する部分の収支のみ記載すること。他の補助事業にかかる収支についてはこの資金計画には計上せず、別様式にて収支予算書を添付すること。また、他の補助事業の内容が分かる補助金交付要綱、要領等、使途の区分が分かる資料を添付すること。